

瀬戸内町立古仁屋小学校 公開研究会

I 研究主題，研究仮説，研究内容

自他の人権を尊重し，心豊かに関わり合える子どもの育成
～特別活動における人間関係づくり・算数科における学び合いを中心に～

目指す子ども像

- 1 友達の思いや考えを共感的に理解し，友達のことを認めることができる子ども【他者理解】
- 2 自分のよさや大切さに気づき，自分のことを認めることができる子ども【自己有用感】
- 3 自分の考えを豊かに表現したり，友達と考えを交流したりして，高め合うことができる子ども【学び合い】

【仮説1】<授業づくり>

人権教育の視点を意識した授業づくりを行っていけば，子どもは他者を共感的にとらえ，互いに認め合うことで自己有用感を高めていくことができるのではないだろうか。

【仮説2】<場面づくり>

人権教育の視点を意識した場面づくりを行っていけば，子どもは他者とのよりよいコミュニケーションについて考え，自他を大切にする心情や態度を身に付けることができるのではないだろうか。

【仮説3】<環境づくり>

人権教育の視点を意識した環境づくりを行っていけば，子どもは自分と他者との共通点や違いに気づき，他者理解を深めたり，自己有用感を高めたりすることができるのではないだろうか。

- 人権教育の視点を明確にした指導
 - ・ 授業実践の3つの視点
 - ・ 「わ・が・と・も」での振り返り
- 子どもたち同士が積極的に関わろう学習形態
 - ・ 話し合いマニュアルの活用
- 他者を大切にする聞く・話す話型

- 人権タイム，人権学習（土曜授業），人権集会
- 「今日のキラリ」，「ありがとうの花」
- 児童会活動，縦割り班活動
- 人権意識を高める職員研修

- 自他のよさに気付く「人権コーナー」の設置
- 人権標語，人権カレンダー
- 「おすすめ人権コーナー図書」
- 人権の花「ひまわり栽培」

II 公開授業及び全体会・分科会の様子

| | 公開授業 | 分科会 | 全体会 I (開会行事) |
|------|------|-----|-------------------|
| 第一学年 | | | |
| 第四学年 | | | 研究発表 |
| 第五学年 | | | 全体会 II (指導講話) |

【公開研究会に参加された先生方より】

- 子どもたちの姿から，学級にすべたの子どもの居場所があることが伝わってくる授業だった。
- 低学年であってもホワイトボードを有効に活用した学習が行われていた。
- 担任が子どもの考えを認め，子どもたちが友達の発表を認めているところがよかった。
- 多様な考えを短い時間でノートにまとめる力がついていてよい。
- 人権教育の視点が算数の話し合い活動に生かされており，自分の学級でも実践していきたい。
- 3つの視点がそのまま主体的・対話的で深い学びの構成になっており，優れた授業設計になっていると思った。
- 自分を大切にする・友達を大切にする授業の展開→自己有用感を高めていくことができれば，学校が楽しくなる。→自然と学力も上がると思う。